淀川水系流域委員会 第 14 回猪名川部会 (H14.10.1) 資料 4

本多委員からの質問

国土交通省近畿整備局 御中

淀川水系流域委員会猪名川部会委員 本多 孝

2002.08.30

委員としての委員会に公開報告していただきたい質問

拝啓 暑さが続くこのごろですが、淀川水系流域委員会の取り組みに誠意努力くださりありがとう ございます。

さて、猪名川での今までの議論で理解しておきたい事柄や次回の猪名川部会委員会の中で議論するためにいくつかの点について教えていただきたく質問いたします。また、この内容につきましては部会委員会での議論としたく思いますので、部会にも提示してくださることをお願いいたします。

質問内容

- 1. 現段階(河川法改定以前または流域委員会答申以前の現時点の河川整備計画)で、考えられていた治水対策は計画通り完了しているのでしょうか?。
- 2. 1.の質問の今、出来上がっている段階での治水対策は、どのように評価されているのでしょうか?。この間の猪名川部会委員会で説明のありました、S35.8の洪水で270280人、105780世帯、12,510億円の被害見積もりは予定していた成果を達成している数字なのでしょうか?。現整備計画の到達度とその評価をお聞かせください。
- 3. 今までの河川整備計画で流域委員会で報告がありました、銀橋の狭窄部を広げること、川西側の護岸、余野川ダムのほかに猪名川の治水対策は、どのようなものなのでしょうか。列挙して教えてください。
- 4. 3.の従来の対策が完成したら過去の4回の洪水と同じものは完全に回避できるのでしょうか?。
- 5. 洪水以外にも地球温暖化による海面の上昇や局部的な集中豪雨、さまざまな要因が一度に重なるような出来事など人類が未経験の予想がつかない事態については、万が一の自体を想定した対策は従来の整備計画になされていたのでしょうか?。
- 6. 過去の4回の洪水被害をなくすためには、あとどれくらいの工事と、どれくらいの期間と、 どれくらいの費用を想定されているのでしょうか?。
- 7. 多田の洪水被害ですが、さまざまな治水対策が講じられれば被害がなくなるのかもしれませんが、現段階ではまだ対策は講じられていない中で、いつ起こるかわからない洪水に対して現段階の多田の被害に対する対策は、どのようなものを実施することになっているのでしょうか?

- 8. その実施のための執行者はどこで、どの管轄になり、どのような取り組みがされることになっているのでしょうか?。
- 9. 猪名川全域で防災施設や設備はどのようなものがどこにあり、誰が管轄しているのでしょうか?。
- 10. 現在危険な地域(たとえば s 3 5 .8 のデータで床上浸水や堤防の破提になるようなところ) には、どのような告知や広報をしているのでしょうか?。
- 11. 10.の質問内容を、現地の住民はどれくらい認識しているのでしょうか?。
- 12. 10.の住民の認知度を調査したことがありますか?
- 13. 知らせるためにどのような取り組みをされていますか?
- 14. 上記の取り組みが十分であったかどうか評価されましたか?また、評価する仕組みはありますか?
- 15. 危険が想定されていた地域では、どのような防災訓練がされているのですか?
- 16. 危険地域の住民の状況(障害者や一人暮らしの老人)などを掌握して、万が一のときの対策は立てておられますか?
- 17. S35.8の洪水が起こると広範囲に被害が出ることが、前回報告されましたが、いつ起こるかわからないこの事態に、現段階での壊滅的被害(少なくとも死亡)を出さないための緊急の体制は、何があるのですか?